

一 般 質 問

令和5年第4回定例会（12月14日）

質 問 者	内 容	答弁を求める者
井上武津男	1. 林業家・農家減少による山林・竹林の荒廃放置農地での農地の荒廃問題を、どの様に解決されようとしているか。 2. 「美しい村連合」に加入しつづける方策は。 3. 観光人口が増加しているが、町に観光課の必要性は。 (1) 観光に特化した考え方はあるか。 (2) ガストロノミーツーリズムの考え方が必要になってくるのではないか。 (3) サステイナブルツーリズムの考え方は。 和束町にとって必要不可欠なものであり、そのための規範や実践方法は。	町長 町長 町長
高山 豊彦	1. 活力を生み出す商工業の振興について (1) 第5次総合計画の基本構想に今後の地域構造の基本的な考え方として、鷺峰山トンネルから府道木津信楽線までの間を「沿道型サービスエリア」とされているが、これまでの取り組みと今後の計画は。 (2) 現在、観光や住民の交流拠点となっている「和束茶カフェ」や「交流ステーション（和束の郷）」の運営状況は。 また、今後どのように活用されるのか。 (3) 地域商店の減少に伴う買い物困難者等への対策は。 2. 環境と共生した生活スタイルの確立について (1) 鷺峰山トンネル開通に伴い、通行量の減少が予想される宇治木屋線犬打峠周辺へのゴミの不法投棄防止対策の考えは。 (2) 本町の玄関口となる国道163号線から府道木津信楽線瓶原大橋間の道路脇のゴミ対策は。	町長 地域力推進課長 農村振興課長 町長 農村振興課長 農村振興課長 町長 農村振興課長 農村振興課長
山本 達也	1. 鷺峰山トンネル開通に向けて、その後増えるであろう観光客を収容し外貨を稼ぐ施設の整備など何らかの具体的な計画が現在あるのか。 2. B&G海洋センターの改修と利用者を増やす取り組みについて、現在役場で運営・管理を行っているが、民間等の他の団体に委託する事でより多くの集客に向けて柔軟な運営ができると思うが、改修と民間委託についてどう考えるか。	町長 町長

	3. 町の税収を大きく増やす取り組みについて現在実行している事、今後実行しようとしている事は何か。 4. 鷺峰山トンネル開通後の交通網について、今後5年後の交通網までも見据えた今現在の考えは。 5. 3町村が連合しての教育委員会について今現在のメリットとデメリットを聞きたい。	町長 町長 町長
岡本 正意	1. 住宅の整備、確保を進め、定住の受け皿づくりを (1) トンネル開通も見通し、定住人口を増やす受け皿として、住宅の確保が欠かせない考えるが、住宅の整備、確保に向けて、どう考え、取り組むのか。 (2) 若い世代や子育て家庭を対象とした一定数の公的住宅の整備を。 2. 奈良交通バスの運賃値上げへの対応は (1) 来年2月から値上げが予定されているが、奈良交通から説明を受けたのか。また町として説明を求め、意見を述べる等の働きかけを行ったのか。 (2) 和束木津線(65系統)は国庫補助をうけ、本町が赤字補填を行っている路線であり、一律値上げの対象とされるのは不適切ではないか。奈良交通に本路線の値上げ撤回を求めるべきではないか。 (3) 値上げを利用者負担に転嫁せず、負担軽減の取り組みを。 ① 値上げ分を利用者負担に転嫁しない対策を。 ② 「敬老パス」など高齢者の運賃補助の実施を。 ③ 高校生通学定期代補助を全額補助に。 3. 物価高騰から暮らしを守る本気の取り組みを (1) 12月補正で具体化した施策の内容は。国の財源、施策の枠内のみでなく、町独自の財源活用での対策を検討し具体化したのか。 (2) 水道料金等の負担軽減の決断と実施を。 ① 年明け1月～3月の簡易水道基本料金の免除を。同様に下水道基本料金免除、くみ取り料金の軽減を。 ② 最低でも、簡易水道基本水量を10m³に戻す措置を。 (3) 来年度からの高齢者の介護保険料の引き下げを。 (4) 来年度からの小中学生の入学時負担の軽減、無償化の実施を。	町長 町長 総務課地方創生 担当課長 町長 福祉課長